

台湾との交流で学ぶ協働

組んでいます。将来的な専門職の連携に向けて、様々な考え方の人たちの中で共通の目標に向かって協働作業できる能力を学ぶ科目です。

具体的には、活動内容が違う20のチームがあり、学生は自分が興味を持った活動に参加しています。私は今「台湾との交流」の活動に参加しています。

台湾とどのように交流するのか具体的なイメージがあった

わけではなく、最初は不安でしたが、講義を通じて文化交流やお互いの生活の様子などを共有する中で、さらに興味が湧き、今は実際に台湾に行きたいと思っています。

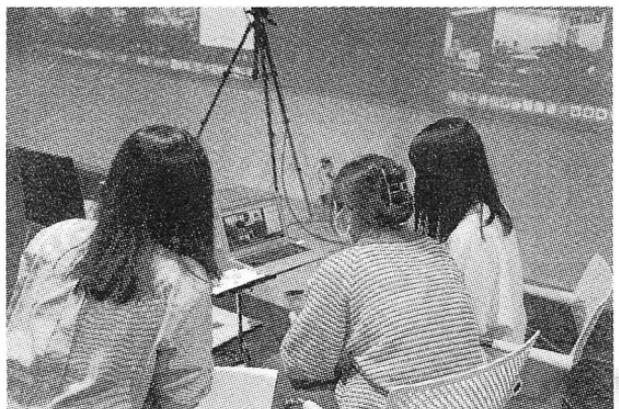
交流、名寄市と台湾の中山大學とオンラインで行っています。講義の中で交流の具体的な計画を話し合い、まずはお互いのキャンパス紹介動画の作成、お菓

子の交換を行いました。動画では、キャンパス内の様子や大学公園について紹介したほか、名寄市の食べ物やイベント・観光などの紹介もしました。中山大學の紹介動画では、大学に

置しているの、台湾とは全く違う気候であり、環境の違いを知ることができました。台湾の大学生活で私が一番驚いたことは、キャンパス内にバスが走っている事です。中山大學はキャンパスがとても広いのでそのバスを利用してキャンパス内を移動するそうです。

現在私たちは次の取り組みとして、両大学混成の6つのグループに分かれて活動を行っています。それほど活動の時間は無いので、大きな事はできませんが、

名寄市は内陸に位置しているの、台湾とは全く違う気候であり、環境の違いを知ることができました。台湾の大学生活で私が一番驚いたことは、キャンパス内にバスが走っている事です。中山大學はキャンパスがとても広いのでそのバスを利用してキャンパス内を移動するそうです。



イスカッションをしながら、一つの目標に向かって連携することは簡単なことではありません。しかし私は台湾交流を楽しみながら活動していきたいです。

共通の課題についてまとめたり、将来的な記念品の製作計画など、個性的な目標に向かって活動しています。環境も言語も考え方も違う人たちが集まって、デザインしながら活動することができています。この調子で最後まで楽しみながら協働して活動を行っていき

みなから活動することができています。この調子で最後まで楽しみながら協働して活動を行っていき

看護学科2年 高橋里佳